

校内授業研究会を行いました

令和7年11月26日（水）に校

内で授業研究会を実施しました。

2020年に発表された新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」がこれから学びとされていきます。従来の授業スタイルは、教室で先生の授業を聞き先生に教えても



らう学びがメインでしたが、これからは先生の教えに沿って教科書に向かうだけではなく、自分で積極的に学ぶという姿勢を重視した学習を大切にすることになりました。加古川市では、市内全学校において、「協同的探究学習」の考えに基づく



授業づくりを行っており、生徒が苦手とする「わかる学力」の育成に向けた授業を工夫しています。生徒の多様な考え方や発言から共通点や相違点を見つけ、問題の本質について考え、生徒が主体的に学んでいけるようにしま



した。今回は、2年1組の数学科の授業で、一次関数を教材に公開授業を行いました。



ご指導いただき藤村宣之教授

も東京から直接、中学校まで指導に来

られ、加古川市教育委員会の担当者の

方、加えて学校運営協議会の代表の方

も来られて実施することができました。

ただ方程式を解くだけでなく、方程式

の解が何を示すのか、それを解くことで何が明らかなるのか。という大きな課題について、深く考えました。みんな一生懸命に取り組み、自分の言葉で本質

に迫る回答がたくさんあり、参観された方もほめておられました。みなさん、

本当によく頑張りました。事後の検討会でも、陵南中学校の生徒はすばらしい

と藤村教授からも褒めていただきました。お疲れさまでした。

これからもさらによい学びを目指してみんなで頑張っていきましょう。